

## 商品市況展望

平成 24 年 12 月 23 日記



これまで大胆な金融緩和を訴えてきた、自民党の安倍総裁。



これに対して、当面は物価上昇率“1%”を目指すとしていた、日本銀行の白川総裁。  
しかし、一昨日（12月18日）、白川総裁は、安倍総裁のもとへ異例の訪問。



日銀は、昨日（19日）に引き続き今日（20日）も、金融政策決定会合を開き、「資金買い入れ基金」の枠を10兆円増額して、101兆円程度にする追加の金融緩和策を決定。



また、安倍総裁が公約として訴える、物価上昇率“2%”に対して、日銀はこれまで“1%”と定めていた「物価安定のめど」の見直しを始め、「政策協定の締結」についても年明けの会合に持ち越すことになりました。



岩井コスモ証券 投資調査部 有沢正一副部長

「よく言われているのは、安倍さんが掲げている政策は“禁じ手”だと。そういうことをしちゃいけないだと。教科書に載っていない政策なんですよ。もうここに至っては、多少の副作用にも注意しながらですけども、やっぱり今までやったことないような政策をやらないと、このデフレからは脱却できないんじゃないかなと思います。そういった意味では今回掲げておられる政策というのは、マーケットの期待を十分に刺激するものだと思います」

山本浩之

「宮崎さんは、ま、この政策には、金融政策には以前からずっと、支持されてましたけれども、改めて伺いたいと思います。この、日銀も、新しい金融政策に踏み切ろうとしてますけれども、まあまだ最終的な声明は出してませんが、これについて全体像はいかがでしょうか」



宮崎哲弥

「あの、この、追加緩和 10 兆円とかね、新聞なんかによると。それから、朝日新聞なんか物価目標検討へ、というような見出しが出ておりますので、えー、そういう方向ということになると思うんですが、ここで気をつけなきゃいけないのは、きっと新聞とかね、えー、まあ場合によってはテレビも、日銀が、政治に、こう、負けてしまったと。これ非常に危険な兆候だと」

山本浩之

「ああー...」

宮崎哲弥

「というような、ことを」

山本浩之

「独立性が保たれないとか」

宮崎哲弥

「**独立性に対する侵犯だ**というようなことを、**必ず書いてきます**」

山本浩之

「はい」

宮崎哲弥

「**特に朝日新聞の、原真人、編集委員なんか、必ず書いてきます**。で、これに対してですね、私は、えー、日銀法 4 条というのを、ここでもう一度確認しておきましょう。これは日本銀行とは何かという、どんな仕事をするのかということ、あの、書いた、まあ、あの、日銀の法的根拠です」

山本浩之

「.....の中に書かれてあるものですよ、4 条ですから」

宮崎哲弥

「ええ。『日本銀行は、その行う通貨及び金融の調節が経済政策の一環をなすものであることを踏まえ、それが政府の』、ここが重要なんですが、『それが政府の経済政策の基本方針と整合的なものとなるよう、常に政府と連絡を密にし、十分な意思疎通を図らなければならない』。要するに、あの、この番組でも私が申し上げるように、経済政策の大枠を決めるのは、金融政策も含めて、この方針を、基本的な方針を決めるのは政府なんです（一同同意）。民主主義社会のルールですから、えー、選挙によって選ばれた人たちが、それを決める...」

山本浩之

「民意を得た、政権ですからね」

宮崎哲弥

「民意を得た人たちが、決める。これが、いわゆるこの目標の独立性というもので」

山本浩之

「あー」

宮崎哲弥

「ちゃんと、これ明確にね、えー、金融政策の目標、どちらが、あの、主体なのかということ、残念ながら日銀法には明確にしていないんですけど、少なくとも、日銀には、政府の基本方針に反するような金融政策を取ることにはできない」

山本浩之

「はい」

宮崎哲弥

「で、そういう事態を未然に防ぐように、日銀に対して、政府との協力関係、不断の協力関係を求めているわけですよ。ですから、あの、白川さん（日銀総裁）が、安倍さんのところに行っても、何の不思議もありません」

山本浩之

「まあ当然のことなんですね」

宮崎哲弥

「あの、日本の日銀法は一般に独立性が強いと言われてるんですが、その今の現行法の範囲の中でも、全く独立性に反するようなことは、ないですから、もし明日の新聞で、そういうことが書いてあって、政治の不当な介入に、日銀が折れたというようなことが書いてあったら、『バッカ！』と言ってやるべきです」

一同

「(笑)」



山本浩之

「あ、テレビご覧の人が、新聞見て書いてあったら... (笑)」

宮崎哲弥

「ええ、その新聞の紙面に向かって、『バカ』と言ってやればいいんです」



一同

「(笑)」

山本浩之

「なるほど。はい。そして、その金融政策に加えて、さらに今後、日銀に求めること、これどういうことでしょうか」

宮崎哲弥

「これはね、あの、皆さんね、先ほどね、あの、申し上げた、あの、朝日新聞の原真人編集委員なんていうのは、あの、昨日（12月19日）の朝刊でですね、えー、金融緩和を行っても、物価や金利が上がるだけだ、庶民の暮らしは、給料も上がらずに、あの、庶民の暮らしは苦しくなるだけだ、などということをお書きになるわけですが、何を根拠におっしゃってるのかさっぱり分かりません。例えばね、こないだ、11月12日にアメリカのFOMCという、連邦公開市場委員会というところが、失業率が6.5%になるまで、金融、金融緩和を続けると、持続するということを決定しましたね。あの、金利とか、物価だけじゃなくて、物価ではなくて、雇用を、雇用水準を、あの、金融政策の、ターゲットにしてるんです、アメリカは」

山本浩之

「そこ大事なことですよね」

宮崎哲弥

「ここ重要で。で、金融政策と、雇用政策とは日本では、全くこう別個のものに扱われていますが、アメリカなんかではこれは、当然、連携としたものであって、関連、関連したものであるというふうに理解するのが、あの、普通の理解の仕方、だからこういう決定がなされるわけ」

山本浩之

「はい」

宮崎哲弥

「そもそも FRB は、雇用の最大化ということを目的に中に入れておりますから、将来、日銀法を改正するとすれば、通貨の安定性と同時に、雇用の最大化ということ、あの、日銀のオペレーションの、理念とすべきです」

山本浩之

「うんうん」

宮崎哲弥

「そこは重要なことで、こういう部分のね、つまり、いったい、**金融緩和をして私たちの生活どこが良くなるのか**ということが、**見えてこない**ので、**こういう何て言うかな、あの、いかにも新聞らしい、何を根拠にしていいか分からないような論説がまかり通ってしまう**わけ。ちなみに日本の、あの、雇用状況というのは、6.5%も失業率ないからいいじゃないかというふうにお考えになるかもしれませんが、ちょっとこれ見にくいかもしれない、これ映していただきたいんですが、見えますか？見えますか？」



宮崎哲弥

「はい。これが日本の今、完全失業率ですが、今ここ（右端）です。これ見て下さい。どんどん、上がってきてるでしょ？ 普通ね、ここ、この、あの、1990年代、2%、ここらへん（左端）ですね、2%というのが通常の水準で、ガンガン上がってきて、今、少しはマシになった、あの、ここでね、リーマンショックでこの、5%、超えちゃうわけですけど、今、4.何パーセントというところで、日本の、日本の、あの、失業率としては、とても高いんで。あの、しかも外国と違って、**雇用調整助成金**なんかがありますから、**実体的に日本の雇用状況**というのは、**8%に至った**、あの、**実質的なものは 8%に至ってるんじゃないかと、言われてるし、若年者は、およそ、こうやって普通に出ている完全失業率は倍と**言われてますから、日本の雇用状況というのは**極めて悪い**。私はね、この雇用状況を、改善させるための金融政策と、というような打ち出し方というもの、あると思います」

山本浩之

「分かりました。ま、あの、年を挟んでですね、来年もこのテーマについて、またお話を伺うこともあると思います。このあたりがポイントなので、ぜひ、覚えておいていただきたいというふうに思います」

## 〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

### 今週の金の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
12月17日	¥4,567	-13	¥4,580	-10
12月18日	¥4,596	29	¥4,608	28
12月19日	¥4,545	-51	¥4,560	-48
12月20日	¥4,504	-41	¥4,522	-38
12月21日	¥4,458	-46	¥4,465	-57

金相場は、先週号においては『NY金は目先下げ相場に入っていると思われるが、東京金は為替次第での動きとなるだろう。大勢での買い相場なのは万人の共通する見方だろうが、その前に調整が入るのかどうか注目している』とコメントした。

今週の相場展開は、週末にかけての3日連続安で、本格的な調整が到来。今週の高値 4,612円(12/19) → 4,433円(12/21) までの下げ幅は179円に及び、連休前の利食い売りが殺到した展開である。

この急落の要因はNY金の下げであり、…中略…

しかし元々、「NY金は目先下げ相場に入っている。だが東京は為替次第」とコメントしてきているわけで、この調整安は想定範囲内だ。

おそらくNY金は1650ドル割れで底となっただろうし、万が一そうじゃないとしても、最大下がってあと100ドルほどの下げの、1500ドル台前半では止まるだろう。一方で為替はアベノミクスで90円辺りまでは円安になると考えているゆえ、下げた場面は絶好の買い場であるとの見方である。

当面の目標値は、

○1800ドル×90円÷31.1035=5208.41… 5,208g/円 と考えており、

逆に最悪の下値は、

○1530ドル×84円÷31.1035=4132.01… 4,132g/円 と想定している。

…中略… 当方は「金融緩和からの金買い」を信じている。

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,458
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,457
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,655	11月26日	¥3,886	6月4日	¥4,462
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,654	11月26日	¥3,940	7月24日	¥4,460
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,657	11月26日	¥4,166	9月3日	¥4,463
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥4,659	11月26日	¥4,330	11月6日	¥4,465

○NY 金日足

…削除済み…

週末 12/21 の NY 市場は、前日比 14.2 ドル高の 1660.1 ドルでの終了。安値は 1636.3 ドルまでであったが、クリスマス休暇を控えた買い戻しで反騰。国内換算は 15 時半比で 46 円高。

チャートでは 1798.1 ドル (10/5) は天井。1755.0 ドル (11/23) は 2 番天井の格好であり、下値抵抗線は 1684.1 ドル (11/5) を割り込んで下げに加速が付いたものの、相対力指数は前日までで 30 ポイント割れ。

ここから更に大きな下げになる可能性は、薄いのではないかと考えている。

CFTC 発表の 12/18 現在のファンドのポジションは、…中略…

また 12/21 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、想定通りに NY 安からの調整安を迎えているが、ここからの下値は再び買いだろう。調整安が完了すれば、NY 高&円安で 5,000 円を目指す買い相場が、再び始まるだろうと見ている。



○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
12月17日	¥4,366	-11	¥4,375	-12
12月18日	¥4,383	17	¥4,390	15
12月19日	¥4,362	-21	¥4,362	-28
12月20日	¥4,337	-25	¥4,325	-37
12月21日	¥4,224	-107	¥4,221	-104

プラチナ相場は、先週号においては『10/5の高値を突破して4,400円台に乗った事により、相場の上昇トレンドはなお強くなった。しかし上昇の主因は、ひとえに円安の追い風であり、それが調整を迎えるようならプラチナも押すだろう。そこが絶好の買い場になるものと想定している』とコメントした。

今週の相場展開は、特に週末の下げが大きく、直近の高値4,430円(12/13)→4,195円(12/21)まで235円幅の急落。その後の夜間取りでは、4,170円の安値まで記録している。

金と比べて出遅れていたプラチナ相場は、12/13にこのところの高値を更新。しかし金が下げると、プラチナも買われた分だけ、それ以上の下落を見せる事となった。

しかし結論から先に言えば、金に対して大勢強気の相場観を持っている限り、プラチナだけどんどん下がるといふ事もないだろう。金と同様に、調整が完了すれば、再び高値を取りに行くというのが、当方の基本的な考え方である。

チャートでは、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,230
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥4,206
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,415	12月13日	¥3,466	7月24日	¥4,207
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,420	12月13日	¥3,460	7月24日	¥4,211
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,423	12月13日	¥3,807	8月31日	¥4,215
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥4,430	12月13日	¥3,933	10月30日	¥4,221

○プラチナ-金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,221円(プラチナ) - 4,465円(金) = -244円。

12/13には-183円まで詰まったが、…中略…

結論として当方の相場観は、金と同様に大勢押し目買いの相場には変化はないだろう。今週の急落は、再び買い場を提供してくれたものと、楽観的に見ている。

## 〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	3月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
12月17日	¥28,270	340	¥25,660	
12月18日	¥28,160	-110	¥25,600	-50
12月19日	¥28,000	-160	¥25,580	-20
12月20日	¥27,350	-650	¥25,270	-310
12月21日	¥27,250	-100	¥24,970	-300

まずはコーンから…

先週号においては『新たに発会する1月限が24,000円辺りまで下げれば、来年の天候相場に向けての仕込みも考えても良いか。ただし保有は長丁場である』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けに2014年1月限が発会。25,700円でのスタートとなり、その後は軟化して24,000円台に突入。

一度、**24,420円(11/14)**の押し目底を割り込むくらいに下げてくださいませんか？という考えなのだが、これは相場観というより、それくらいまで下げたら買ってみたいから…という単なる願望だ。

いずれにしたって、現在の穀物相場は…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥27,250
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥28,650
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥27,790
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥26,740
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥26,020	11月30日	¥24,420	11月14日	¥25,170
2014年1月	<b>¥25,700</b>	<b>12月17日</b>	<b>¥25,730</b>	<b>12月17日</b>	<b>¥24,930</b>	<b>12月21日</b>	¥24,970

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末12/21のシカゴ市場は、3月限で5.50セント高の702.00セントでの終了。来年の12月限では3.00セント高の606.75セントである。

チャートでは、夏場の8ドル台半ばから、7ドルを割り込む水準まで下がっているわけで、150セントほどの下落中。底抜けしていると言えばその通りなのだが、東京市場の先物に当たる新穀は、更に1ドルほど安い値位置の6ドル辺りまで下げているわけで、ここからそんなに下値があるとも思えない。

仮に昨年6月の天候相場の爆上げ前まで下げたとしても、残り50セントあまりしか残っていないのだから。更に東京市場ならば、円安トレンドが下値を支える可能性は高い。

よって、なるため安いところを待って買いたい…というのが、当方の考え方なのである。

なおCFTC発表の12/18現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、来春に向けての買い場探しである。出来れば、24,000円辺りまで下げて欲しいところだが、さて？

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
12月17日	¥52,800	500	¥50,200	
12月18日	¥53,100	300	¥50,130	-70
12月19日	¥52,650	-450	¥49,880	-250
12月20日	¥53,000	350	¥49,400	-480
12月21日	¥53,250	250	¥49,090	-310

続いて一般大豆です…

先週号においては『今後 47,000 円～48,000 円辺りまで大きく突っ込んでくれば、来年の天候相場に向けて買い仕込みを開始したい。まだ慌てて買う相場ではないだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、先物引き継ぎ足では先週末に 50,860 円 (12/14) まで上昇したところから反落に転じ、週末には安値で 48,720 円 (12/21) まで下落。2,000 円超の下落を演じることとなった。

先週号において「円安の追い風が吹き、今週も一代高値の更新であるが、更新しているのは先物だけ。そんなに大事になる前に失速するだろうと思う」とコメントしたが、相場は予想通りに反落。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥60,000	7月23日	¥41,050	2月16日	¥53,250
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥56,480	7月23日	¥41,750	6月4日	¥52,210
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥52,190	7月20日	¥44,400	6月18日	¥50,000
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥51,810	9月5日	¥47,500	11月13日	¥49,320
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥51,080	12月17日	¥46,920	10月16日	¥49,150
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥50,680	12月17日	¥48,720	12月21日	¥49,090

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末 12/21 のシカゴ市場は、1月限で 22.00 セント高の 1430.75 セント。来年の 11月限は 12.75 セント高の 1300.50 セント。

…中略…

なお CFTC 発表の 12/18 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、突っ込みを買い狙いして、長期保有に賭ける相場であろうと見る。

## [ゴム]

○東京ゴム日足  
…削除済み…

### 今週のゴムの値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
12月17日	267.2	6.8	284.2	7.8
12月18日	271.1	3.9	285.7	1.5
12月19日	270.0	-1.1	287.7	2.0
12月20日	267.5	-2.5	282.8	-4.9
	1月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
12月21日	271.0	2.9	287.6	

先週号においては『ファンダ買いのテクニカル要因での上昇が加速している展開である。腹いっぱい買ってもらって天井を付けるのが美味しいのだが、早く仕掛けると燃え種にされる可能性が高いので注意だろう。売り線の出現を待ちたい』とコメントした。

今週の相場展開は、一段高に向かった相場が **289.0 円 (12/18)** まで上昇。しかしそこからは調整に入ったが、週末時点でも 287.6 円の終了と、まだ大して下げしていない。

289.0 円で天井を打ったかどうかは、まだ5分5分だろう…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	233.3	6月26日	271.5	10月5日	204.5	8月15日	<b>267.5</b>
2013年1月	230.2	7月26日	<b>274.0</b>	<b>12月18日</b>	205.6	8月14日	271.0
2013年2月	230.0	8月26日	<b>275.7</b>	<b>12月18日</b>	216.4	8月31日	273.1
2013年3月	253.5	9月25日	<b>280.0</b>	<b>12月18日</b>	240.0	11月12日	276.3
2013年4月	262.1	10月26日	<b>284.9</b>	<b>12月18日</b>	241.8	11月12日	280.7
2013年5月	259.7	11月27日	<b>289.0</b>	<b>12月18日</b>	245.6	11月29日	284.5
2013年6月	<b>286.0</b>	<b>12月21日</b>	<b>287.8</b>	<b>12月21日</b>	<b>283.8</b>	<b>12月21日</b>	287.6

今週も全限一代高値の更新である。

当先のサヤは、1月限 271.0 円～6月限 287.6 円と **16.6 円**の順ザヤ。ファンダ買いでの上昇なので、サヤは拡大傾向だ。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、11/30 現在で 334 トン減の 6,186 トン。2 旬連続の減少である。



上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、24,000 元台→25,000 元台へと僅かに上昇。

ゴム生産主要 3 ヶ国による価格安定化策に関する続報は、今のところない。価格が上がって  
いけば、彼らは満足なのだから。

上がっている要因は、ファンド買いの一語に尽きるが、ではなぜファンドが買っているのか  
は想像の域を出ないが、おそらくテクニカル要因であろう。ということは、チャートが悪化すれ  
ばファンドは手仕舞いして来るというわけだ。

結論として当方の相場観は、皆が 300 円相場と言い始めたので、そろそろ天井ではなかろうか。  
280 円を割れたら売り仕掛けで、290 円と来たらストップロスが良いだろう。

## 〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
12月17日	¥55,650	310	¥54,570	780
12月18日	¥55,700	50	¥54,590	20
12月19日	¥55,870	170	¥55,000	410
12月20日	¥55,890	20	¥55,160	160
12月21日	¥55,750	-140	¥55,110	-50

まずは原油から…

先週号においては『5万円～55,000円の持ち合い相場は、居心地の良い水準と思われるため、今しばらくは続くのではあるまいか。逆張りでの対処が良いと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は85ドル台→90ドル台まで反騰。週末12/21は、前日比1.47ドル安の88.66ドルでの終了である。

10月以降は完全に横ばいが続いているが、今週も85ドル～90ドルでの動きは脱しきれなかった。

…中略…

なお週末のロンドンブレントは108ドル台、ドバイ原油は106ドル台であり、ほとんど動いていない。

また12/18現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、55,200円(11/26)→52,370円(12/11)まで3,000円近く下げた後、55,840円(12/20)と高値更新である。

NY原油が85ドル→90ドルまで上がる中で、円安の追い風がある東京市場はほぼ全限一代高値の更新である。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥47,580	7月2日	¥56,370	12月3日	¥46,240	7月3日	¥55,750
2013年1月	¥48,890	8月1日	¥56,710	12月20日	¥48,420	8月1日	¥55,970
2013年2月	¥53,910	9月3日	¥56,430	12月20日	¥50,290	9月21日	¥55,780
2013年3月	¥52,040	10月1日	¥56,080	12月21日	¥50,610	11月12日	¥55,560
2013年4月	¥51,740	11月1日	¥56,010	12月20日	¥50,390	11月12日	¥55,310
2013年5月	¥54,860	12月3日	¥55,840	12月20日	¥52,370	12月11日	¥55,110

結論として当方の相場観は、NY 原油はもみ合いのまま。東京原油は上放れの情勢であるが、年末なので新たな仕掛けは考えない。新春の動向を見ての判断が良いだろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

#### 今週のガソリンの値動き

	1月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
12月17日	¥67,880	680	¥68,760	710
12月18日	¥67,310	-570	¥68,810	50
12月19日	¥67,940	630	¥69,180	370
12月20日	¥68,670	730	¥69,370	190
12月21日	¥68,730	60	¥69,260	-110

続いてガソリンです…

先週号においては『今のところ 69,000 円で目先天井を付けているとの見方である。暴落はないだろうと思うが、先に 65,000 円程度まで調整安を入れ、その後にもた上がって行くのが理想的だが、さて?』とコメントした。

今週の相場展開は、70,120 円 (12/20) まで一段高となり、全限一代高値の更新。ついに 7 万円の大台に乗ったわけで、期待の調整安は空振りに終わった。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥69,190	12月21日	¥53,460	6月26日	¥68,730
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥68,170	12月21日	¥58,160	7月27日	¥67,580
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥68,780	12月21日	¥61,020	9月21日	¥68,120
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥70,500	12月21日	¥62,560	11月6日	¥69,720
2013年5月	¥65,180	10月26日	¥70,300	12月20日	¥62,490	11月6日	¥69,510
2013年6月	¥67,980	11月26日	¥70,120	12月20日	¥66,480	12月10日	¥69,260

12/21 現在の業者間転売価格は、…中略…

12/15 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、7 万円の台に乗せでも、まだそんなには過熱感が感じられない。さすがにここから買うのは抵抗があるが、売るのも怖いので、年末年始は仕掛け無用か。様子見が良いだろう。

○東京灯油日足

…削除済み…

### 今週の灯油の値動き

	1月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
12月17日	¥76,650	740	¥67,480	770
12月18日	¥76,950	300	¥67,650	170
12月19日	¥77,020	70	¥67,990	340
12月20日	¥76,870	-150	¥67,960	-30
12月21日	¥76,380	-490	¥67,660	-300

最後に灯油です…

先週号においては『円安&需給逼迫という灯油独自の材料が期近から相場を押し上げている。無いものは高いという当たり前の現象であり、今冬の燃料代は出費がかさむ事を覚悟しないとしようがないだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、再び騰勢を強めた相場が **68,800円(12/20)** まで上昇と12/4の高値を更新。また期近が需要期、先物が不需要期で大きな逆ザヤとなっている相場ゆえ、**今週は全限一代高値の更新**となっている。

チャートでは **67,800円(12/4) → 64,690円(12/11)** まで **3,000円** 以上下げたが、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥77,300	12月20日	¥57,080	6月29日	¥76,380
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥75,990	12月19日	¥61,350	7月26日	¥74,880
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥72,800	12月20日	¥64,080	11月6日	¥71,870
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥70,320	12月20日	¥62,960	11月6日	¥69,290
2013年5月	¥64,410	10月26日	¥69,000	12月20日	¥62,530	11月6日	¥67,910
2013年6月	¥67,680	11月26日	¥68,800	12月20日	¥64,690	12月11日	¥67,660

12/21現在の業者間転売価格は、…中略…

12/15現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、寒波の襲来で需要好調であり、在庫は逼迫状態に近づいて行っている。このような情勢では、反落はあっても一時的なものに留まる可能性は高いだろう。値頃での売りは、まだ危険だと思われる。

## [為替]

### ○ドル/円相場日足

…削除済み…

安倍政権による金融緩和は「アベノミクス」と命名され、実際にはまだ政権に付いたわけではないが、期待値がどんどん高まって **84.61 円 (12/19) まで円安が進行。株価も 1 万円の大台を回復である。**

マスコミ & 野党は「金融緩和のデメリット」や「日銀の独立性への侵害」を語るが、まあ彼らは安保条約の昔から自民党が嫌いなわけだし、ましてやそれが「岸の孫なら不倶戴天の敵」だろう。

そんな事はともかく、アベノミクスで物価が上がるのなら、商品市場への参加者は千載一遇のチャンスだ。

なお来週の主な経済指標の予定は、

24 日 (月) 天皇誕生日振り替え休日、欧米はクリスマスで短縮取引、

25 日 (火) クリスマスで欧米は休場、

26 日 (水) 特別国会召集、安倍自民党総裁が内閣総理大臣になる予定、

27 日 (木) 米新築住宅販売件数 (11 月)

28 日 (金) 取引所大納会

などとなっている。

### ○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ドル/円で 104 円台となった円安だが、ユーロ/円でも 112 円台まで円安が進行している。

このチャート上での円高ピークは、夏場の 94 円台だったのだから、**すでに 18 円も円安が進んでいるわけだ。**

### ○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

ユーロ/ドルもドル安方向に抜けそうな感じになっているが、円ほどに安くはなっているわけではない。…中略…

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)